

# 1年生 総合実習でシイタケの菌打ち

3月22日は、1年生全員でシイタケの菌打ち実習を行いました。原木に用いたクヌギは、本校の川合農場で3年生が伐採して、2年生で90cmに玉切りしたものをしました。



原木にシイタケ専用ドリルで穴を開けていきます。



正確に穴を開けられるように、開ける位置を指します。



穴を開けたクヌギ原木に、シイタケの種菌を詰めていきます。この日だけで、220本のクヌギに6720個の菌を詰めました。

年に1回だけの実習ですが、この菌打ちがうまくいかないとシイタケの収穫ができないので、とても大切な実習です。菌を触るときは、雑菌が入らないようにアルコール消毒をするなど、衛生面にも気を付けて行いました。

菌打ちをしたほだ木は、美濃加茂市三和にある本校の演習林に運んで、シイタケ菌を木に活着させるために薪積みにしました。これを「仮伏せ」といいます。

6月には下の写真のように井桁積みに組み、11月にはシイタケの発生が始まる予定です。



**演習林にて仮伏せの状態**



**シイタケハウスにて井桁積みの状態**